

# 「SDGs 時代における科学技術のあり方—ブダペスト宣言から 20 年—」

## 第 1 回全体研究会

日時： 2018 年 10 月 19 日（金） 10:00~12:00 ※12:00 以降昼食を兼ねた打合せ

場所： JST 東京別館 4 階 会議室 G

出席者：（敬称略）

代表者 有本 建男	国際高等研究所副所長、政策研究大学院大学教授
大竹 晓	科学技術振興機構研究開発戦略センター客員フェロー、 東京大学政策ビジョン研究センター客員教授
隠岐 さや香	名古屋大学大学院経済学研究科教授（スカイプ）
狩野 光伸	岡山大学副理事・大学院医歯薬学総合研究科副研究科長・教授
小寺 秀俊	理化学研究所理事
駒井 章治	奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科准教授
宮野 公樹	京都大学学際融合教育研究推進センター准教授

国際高等研究所事務局

三石 祥子 森口 有加里

議題： 1. 最近の高等研の動き

2. 21 世紀研究会第 2 期の構想

- ・若手研究者のハブ、プラットフォーム
- ・関連の組織との連携の拡大

理研、学融合センター、CRDS、SciREX、思修館、RISTEX、

学術協力財団・「科学者の集まり」の動き（駒井プロジェクト）、「臨床の学問」

- ・ブダペスト宣言の再考：インタビュー・講演の継続

村上、吉川、黒田、佐藤貞一

3. 人文・社会科学の推進・連携

- ・文科省学術分科会の動き
- ・CRDS の動き

人社連携プロポーザルの完成、

OECD・GSF の trans-disciplinary research プロジェクトの開始

EU からの提案（「啓蒙 2.0」プロジェクト）

4. 第 6 期科学技術基本計画（2021-）、

EU 次期科学技術政策 Horizon Europe (2021-)

資料： 1. 研究活動計画

2. 「集合知プラットフォームの構築」提案書（案）

3. 第 3 カテゴリーの科学の進め方

参考： 1. スマートエキスポ 2018：講演者 PPT

2. 日本学術会議産学良縁創出企画

3. WSF 2018 主テーマ steering committee 7.2018 プレス発表

4. ESOF 2018 David\_Mair presentation

5. OECD GSF new project scoping transdisciplinary Research

6. OECD GSF 次期テーマ候補 multi-disciplinary approach